

まちの話題



1月9日[Tue]

現代美術家のヤマガミユキヒロ氏が表敬訪問



ヤマガミユキヒロ氏



▲公演の説明を受け、当日への期待が高まりました（右から2番目：ヤマガミユキヒロ氏）

多久市市制施行70周年記念事業の一環で、能楽と現代美術が織りなす『noh play』が2月10日(土)に多久市中央公民館で上演されます。開催を前に、舞台を手掛けた現代美術家のヤマガミユキヒロ氏が横尾俊彦市長を表敬訪問されました。今回の公演では、多久市のためのオリジナルストーリーが構成されています。

ヤマガミ氏は「多久市への祝福の気持ちを込めました。最初のシーンは多久聖廟です。能楽に親しんでこなかった人も楽しめる内容だと思います」と鑑賞を呼び掛けました。横尾市長は「アートは暮らしに潤いをもたらす素晴らしいものです。公演を楽しみにしています」と話しました。

■申し込み・問い合わせ

- ①教育振興課文化スポーツ係
- ②オンラインで (Peatix)

(9時から17時) ☎0952-75-8022



1月14日[Sun]

令和6年 多久市消防団出初式



▲消防署から中央公民館まで行進する消防団のみなさん

多久市消防団出初式が、4年ぶりに通常開催されました。団員は早朝から多久消防署グラウンドに集合。観閲、機械器具点検を終えると郵便局前まで分列行進し、その雄姿を横尾俊彦市長が見守りました。

その後、多久市中央公民館で式典を開催。横尾市長が「現場で熱心に力を尽くしていただき、心から敬意を表します。個人でもチームでも、しっかり力を発揮してください」とエールを贈りました。

松岡伸一団長は「昨年からのコロナ禍以前と同等の活動ができるようになりました。団員一同訓練に励み、市民のみなさんの安心、安全のために努力します」と決意を述べました。

12月15日[Fri]～1月15日[Mon]

多久聖廟イルミネーション



▲合格の門や龍などが輝き、幻想的な風景が広がりました

昨年末から年始にかけて、多久聖廟敷地内がきらびやかなイルミネーションで飾られました。多久美化クラブが参道入口からイベント広場まで電飾を設置。青いLEDで装飾された五角の門「合格の門」や、龍をイメージした飾りが登場しました。

市外から来場した家族は「ホームページで知り、受験祈願にきました。もっと多くの人に知ってもらいたいですね」と楽しまれていました。

多久美化クラブの南里カチ子さんは「LEDで龍の雰囲気を出せるよう工夫しました。電飾の設置準備に来てくれたのは延べ100人以上。今後も協力し合って続けていきたいです」と話されました。



多久をたくさん知ってもらおうSNS!

登録をおねがいします!



多久市公式 LINE